



安全データシート

トキシカラーLS-50Mセット

SDS番号: SI-020130-01J

作成日: 2020/08/14

1. 化学品及び会社情報

製品の名称: トキシカラー(R) LS-50Mセット Toxicolor LS-50M Set

製品コード: 020130

化学品の名称および構成:

(3) 緩衝液 2.8 mL × 1本

(4) LAL試薬 1本

(5) 蒸留水(Et, β-グルカンフリー) 2.8 mL × 1本

会社名称: 生化学工業株式会社
担当部門: 事業推進本部 海外事業推進部 ACC/LALグループ
住所: 東京都千代田区丸の内一丁目6-1
電話番号: 03-5220-8953
FAX番号: 03-5220-8956
電子メールアドレス: lal@seikagaku.co.jp
緊急連絡電話番号: 同上
推奨用途及び使用上の制限: 研究用または試験用試薬

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類: 区分に該当しない

GHSラベル要素: 非該当

3. 組成及び成分情報

化学品の名称:	(3) 緩衝液	(4) LAL試薬	(5) 蒸留水
化学物質・混合物の区別:	混合物	混合物	化学物質
化学名又は一般名:	2-アミノ-2-(ヒドロキシメチル)-1,3-プロパンジオール・塩酸塩 (2-Amino-2-(hydroxymethyl)propane-1,3-diol monohydrochloride) トリス(ヒドロキシメチル)(アミノ)メタン・塩酸塩 (Tris(hydroxymethyl)(amino)methane hydrochloride)	ライセート (Hemocyste, Limulus polyphemus, lysate)	蒸留水 水 (Water)
化学特性(化学式):	C ₄ H ₁₂ ClNO ₃	-	H ₂ O
分子量:	157.596	-	18.015
CAS番号:	1185-53-1	68606-22-4	7732-18-5
成分及び濃度又は濃度範囲(含有量):	0.2 mol/L	-	≤100 %
官報公示整理番号:	化審法: (2)-318 既存化学物質	-	非該当(昭和54年6月29日までに化審法の規定により公示された化学物質、日本薬局方第8改正収載物質:官報公示整理番号なし)

4. 応急措置

吸入した場合:	気分が悪いときは医師に連絡すること。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合:	気分が悪いときは医師に連絡すること。多量の水で洗うこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合:	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトを装着していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合:	気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。

5. 火災時の措置

適切な消火剤:	適切な消火剤を使用して消火すること。
使ってはならない消火剤:	情報がない

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:	「8. ばく露 防止及び保護措置」の項に示した適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項:	河川等に排出され、環境へ影響を起さないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材:	危険でなければ漏れを止める。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い: 「8. ばく露 防止及び保護措置」の項に示した適切な保護具を着用する。
 保管: 情報がない

8. ばく露防止及び保護措置

保護具: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

化学品の名称:	(3) 緩衝液	(4) LAL試薬	(5) 蒸留水
物理状態:	液体	凍結乾燥品	液体
色:	無色透明	白色(若干違う場合がある)	無色透明
臭い:	情報がない	情報がない	無臭
融点/凝固点:	記載省略	記載省略	0°C
沸点又は初留点及び沸点範囲:	情報がない	情報がない	100°C
可燃性:	情報がない	情報がない	不燃性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界:	情報がない	情報がない	不燃性
引火点:	情報がない	情報がない	不燃性
自然発火点:	情報がない	情報がない	不燃性
分解温度:	情報がない	情報がない	非該当
pH:	8.0	情報がない	中性
動粘性率:	情報がない	情報がない	情報がない
溶解度:	記載省略	記載省略	情報がない
n-オクタノール/水分分配係数(log値):	記載省略	記載省略	非該当
蒸気圧:	情報がない	情報がない	情報がない
密度及び/又は相対密度:	情報がない	情報がない	1
相対ガス密度:	情報がない	情報がない	情報がない
粒子特性:	非該当	情報がない	非該当

10. 安定性及び反応性

反応性: 情報がない
 化学的安定性: 情報がない
 危険有害反応可能性: 情報がない
 避けるべき条件: 情報がない
 混触危険物質: 情報がない
 危険有害な分解生成物: 情報がない

11. 有害性情報

急性毒性:	GHS分類区分に該当しない。
皮膚腐食性/刺激性:	GHS分類区分に該当しない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	GHS 分類区分に該当しない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性:	GHS分類区分に該当しない。
生殖細胞変異原性:	GHS分類区分に該当しない。
発がん性:	GHS分類区分に該当しない。
生殖毒性:	GHS分類区分に該当しない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	GHS 分類区分に該当しない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	GHS分類区分に該当しない。
誤えん有害性:	GHS分類区分に該当しない。

12. 環境影響情報

生態毒性:	GHS分類区分に該当しない。
残留性・分解性:	GHS 分類区分に該当しない。
生体蓄積性:	GHS 分類区分に該当しない。
土壤中の移動性:	GHS 分類区分に該当しない。
オゾン層への有害性:	GHS分類区分に該当しない。

13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報: 内容物/容器を関連法規、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号:	非該当
品名(国連輸送名):	非該当
国連分類:	非該当
容器等級:	非該当
海洋汚染物質:	非該当
MARPOL73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質:	非該当
国内規制がある場合の規制情報:	非該当

15. 適用法令

化学品の名称:	(3) 緩衝液	(4) LAL試薬	(5) 蒸留水
化学物質管理促進 (PRTR)法:	非該当	非該当	非該当
労働安全衛生法:	非該当	非該当	非該当
毒物及び劇物取締法:	非該当	非該当	非該当
化審法:	(2)-318 既存化学物質	非該当	非該当
消防法:	非該当	非該当	非該当
麻薬及び向精神薬取締 法:	非該当	非該当	非該当
航空法:	非該当	非該当	非該当
船舶安全法:	非該当	非該当	非該当
水質汚濁防止法:	非該当	非該当	非該当
土壤汚染対策法	非該当	非該当	非該当
大気汚染防止法:	非該当	非該当	非該当
海洋汚染防止法:	非該当	非該当	有害でない物質(施行令別表 第1の2)【16 水】
外国為替及び外国貿易 法:	非該当	非該当	輸出貿易管理令別表第1の 16の項【HS2853 りん化物(化 学的に単一であるかないかを 問わないものとし、りん鉄を除 く。)、その他の無機化合物 (蒸留水、伝導度水その他こ れらに類する純水を含む。)、 液体空気(希ガスを除いてある かないかを問わない。)、圧縮 空気及びアマルガム(貴金属 のアマルガムを除く。)]

16. その他の情報

出典:

- 1) 日本産業規格JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法
- 2) 日本産業規格JIS Z 7253:2019 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS)
- 3) 経済産業省事業者向けGHS分類ガイダンス(令和元年度改訂版 (Ver.2.0))(令和2年3月)
- 4) 国際連合化学品の分類及び表示に関する世界調和システム (GHS) 改訂7版 (2017)
- 5) 厚生労働省職場のあんぜんサイト:GHS対応モデルラベル・モデルSDS情報
- 6) 独立行政法人製品評価技術基盤機構NITE化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIP)
- 7) 国立医薬品食品衛生研究所国際化学物質安全性カード (ICSC) 日本語版
- 8) 経済産業省GHS混合物分類判定システム

本データシートは試薬の一般的な取扱いにつき記載しており、その他の取扱いに関しては考慮されていない場合があります。また、作成時点での最新の知見によるものですが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありません。

新たな知見を入手した場合には追加または訂正される場合があります。

記載されている情報は安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありませんので、取扱いには十分ご注意ください。

End of SDS